

ROYAL

平成19年12月期 第3四半期決算 補足説明

平成19年11月6日

ロイヤルホールディングス株式会社（証券コード:8179）

	頁
第3四半期決算の概況	3
《第1部》 実績報告	
* 平成19年12月期 第3四半期決算 連結業績 対前年比較	5
* セグメント別売上高・営業利益(対前年比較)	
全体	6
外食事業	7
食品事業	8
機内食事業	9
ホテル事業	10
《第2部》 業績予想	
* 平成19年12月期 通期連結業績予想	12

第3四半期決算の概況

Fine food is our business for
the people hospitality cleanliness

ROYAL

➤ 全体

- 売上高は+8.5%の増収 / 営業利益は+2.5%・経常利益は+1.9%の増益
 - ✓ 全てのセグメントで増収達成(+7,287百万円)
 - ✓ 一部のセグメントの増益により営業利益+94百万円、経常利益+76百万円増益

➤ 外食事業

- 個人消費の伸び悩みにより、売上は全体的に苦戦したもののM&A効果があり大幅増収(+5,559百万円)、利益は前年並みに止まる(▲26百万円)
 - ✓ ロイヤルホスト事業は、大幅減収(▲2,290百万円)するも、業務改善効果(+773百万円)があり増益(+433百万円)
 - ✓ 当期のM&A効果は、売上高増加(+7,753百万円)・営業利益増加(+40百万円)
 - ✓ その他は、売上が前年並み(+96百万円)を維持したが、減益(▲177百万円)

➤ 食品事業

- 外食チェーン向けの売上伸張等や、生産性向上により増収(+618百万円)・増益(+83百万円)

➤ 機内食事業

- オペレーション品質の高さに基づく競争力を維持し、外資系航空会社への搭載数増加により増収(+185百万円)・増益(+93百万円)

➤ ホテル事業

- 開店効果及び高稼働率維持により連続増収(+925百万円)するも、「リッチモンドホテル」へのブランド変更経費(19百万円)、開店費用(241百万円)が影響し、営業利益は前年並みに止まる(▲9百万円)

《第1部》 実績報告

対前年比較

売上高は+8.5%の増収、
営業利益は+2.5%・経常利益は+1.9%の増益

	平成19年度 第3四半期	平成18年度 第3四半期	前年同期比較
売上高	93,131	85,843	+ 7,287 (+ 8.5%)
営業利益	3,898	3,803	+ 94 (+ 2.5%)
経常利益	4,199	4,122	+ 76 (+ 1.9%)
四半期純利益	1,501	2,091	▲ 590 (▲28.2%)

【百万円】

《参考値：売上高・経常利益推移》

	平成16年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	平成18年度 第3四半期	平成19年度 第3四半期
売上高	75,149	76,255	85,843	93,131
営業利益	4,303	3,784	3,803	3,898
経常利益	4,562	4,058	4,122	4,199

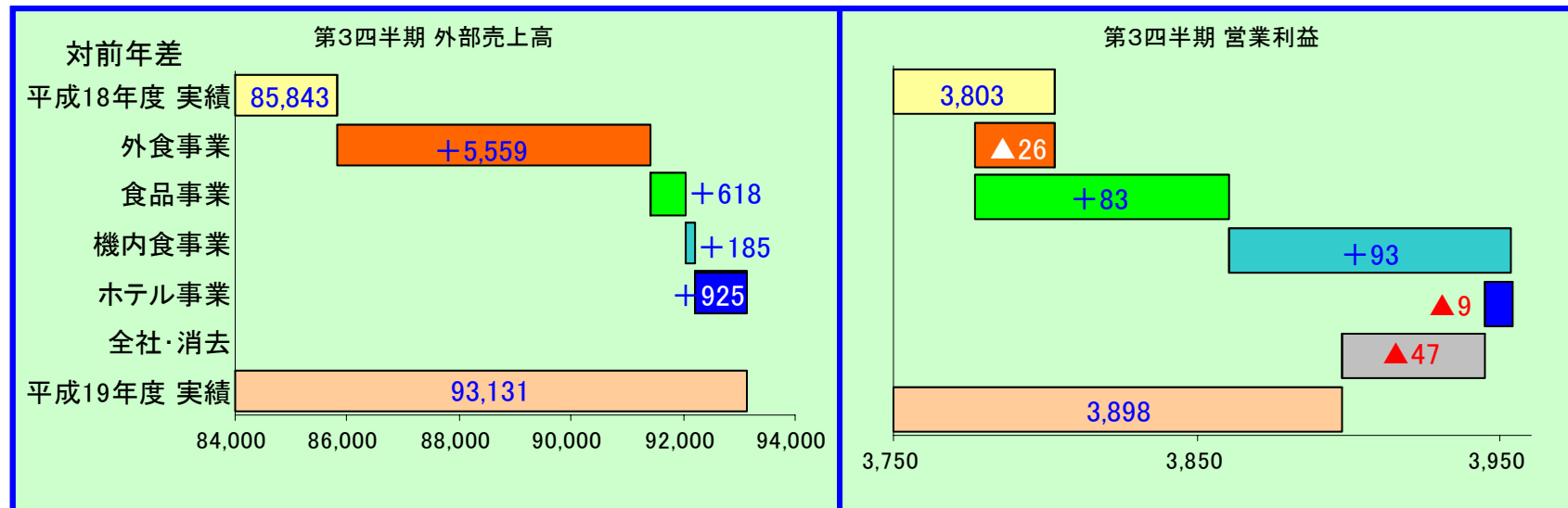
【百万円】

全体

外食事業を中心に全てのセグメントで売上高増加
食品事業・機内食事業が営業利益の増加に貢献

第3四半期	平成19年度実績		平成18年度実績		前年同期比	
	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益
外食事業	75,818	2,239	70,259	2,265	+ 5,559	▲ 26
食品事業	6,192	518	5,574	435	+ 618	+ 83
機内食事業	4,718	856	4,533	763	+ 185	+ 93
ホテル事業	6,400	1,048	5,475	1,057	+ 925	▲ 9
全社・消去	—	▲ 765	—	▲ 718	—	▲ 47
合計	93,131	3,898	85,843	3,803	+ 7,288	+ 94

【百万円】



個人消費の伸び悩みにより、売上は全体的に苦戦したものの
M&A効果があり増収(+5,559百万円)、利益は前年並みに止まる(▲26百万円)

【外食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成18年度第3四半期	70,259	2,265	
M&A効果※	+ 7,753	+ 40	のれん償却前の営業利益 +64百万円
ロイヤルホスト事業	▲ 2,290	+ 433	内訳は下記『ロイヤルホスト事業内訳』参照
その他外食事業	+ 96	▲ 177	一部事業で減収・減益
間接経費	—	▲ 322	新システム稼働・中国進出費用など
平成19年度第3四半期	75,818	2,239	

※対象会社: セントレスタ(株)
(株)テンコーホレーション

減収に伴う減益分: ▲542百万円

業務改善効果: +773百万円

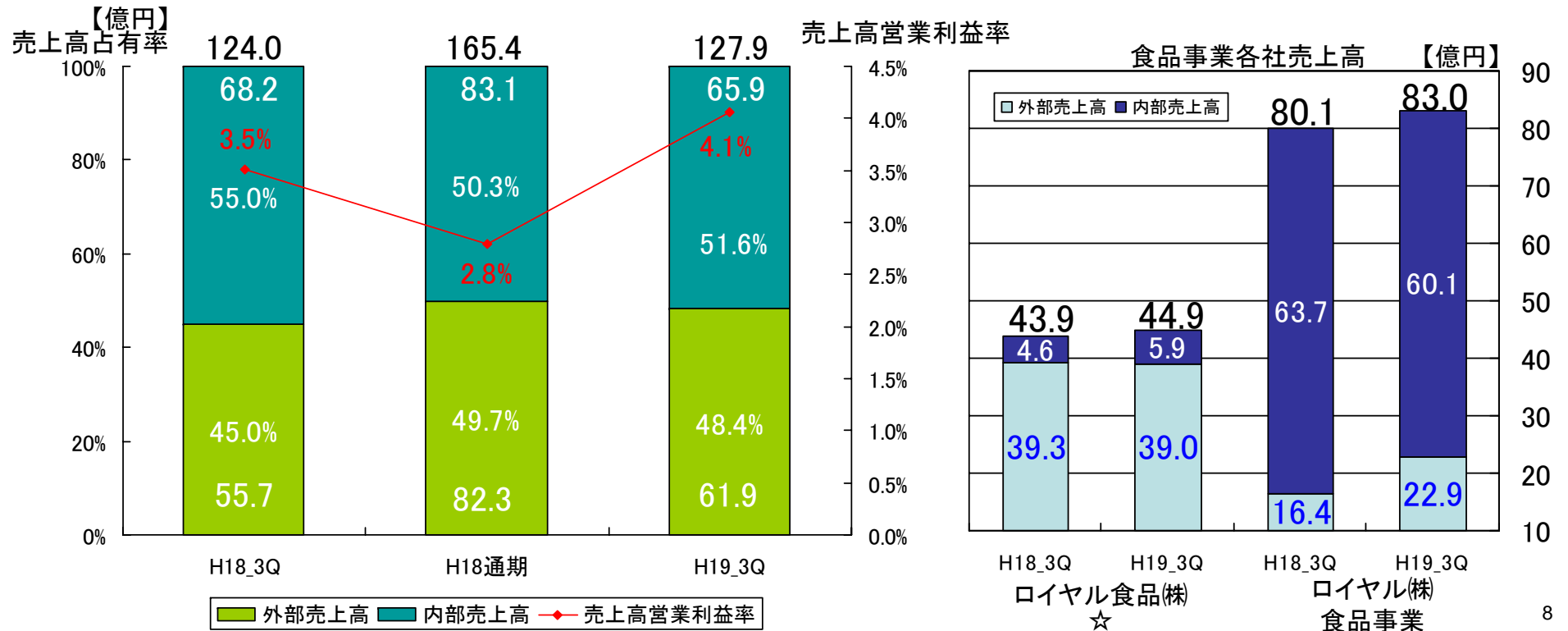
《ロイヤルホスト事業内訳》	外部売上高	営業利益
既存店減収及びその減益分(粗利)	▲ 1,680	▲ 1,195
減収に伴う人件費減	—	+ 554
減収に伴う店舗経費等減	—	+ 99
開閉店効果	▲ 609	+ 62
集中購買等改善による購買費用削減	—	+ 206
業務改善による人件費削減	—	+ 497
テーブルマット等の店舗経費削減	—	+ 70
その他	—	+ 140
合計	▲ 2,290	+ 433

外部売上高伸張と全体の生産性向上により増収・増益

【食品事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成18年度第3四半期	5,574	435	
変動分	+ 618	+ 83	外食チェーン向けの売上伸張等による
平成19年度第3四半期	6,192	518	

【百万円】

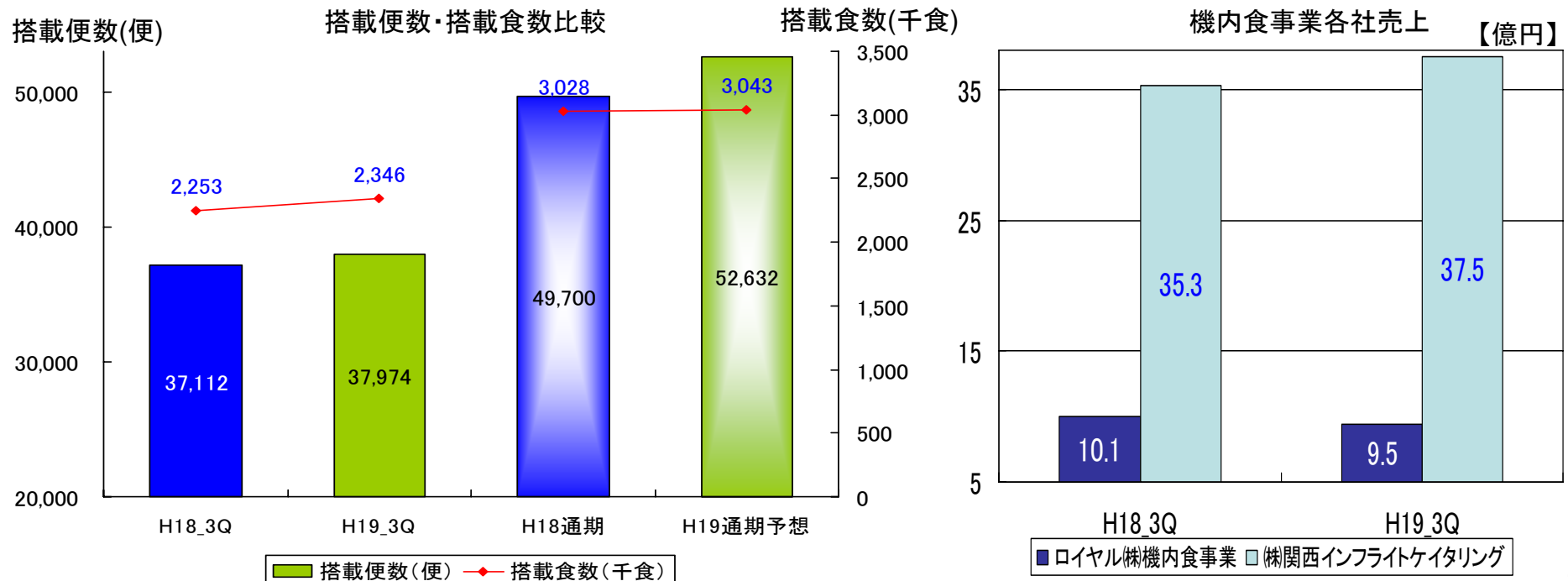
☆ ロイヤル食品(株)は平成19年9月26日の増資により、当第3四半期より持分法適用会社となりました。



オペレーション品質の高さに基づく競争力を維持し増収・増益

【機内食事業】	外部売上高	営業利益	備考
	平成18年度第3四半期	4,533	
変動分	+ 185	+ 93	主に外資系航空会社への搭載数増加による
平成19年度第3四半期	4,718	856	

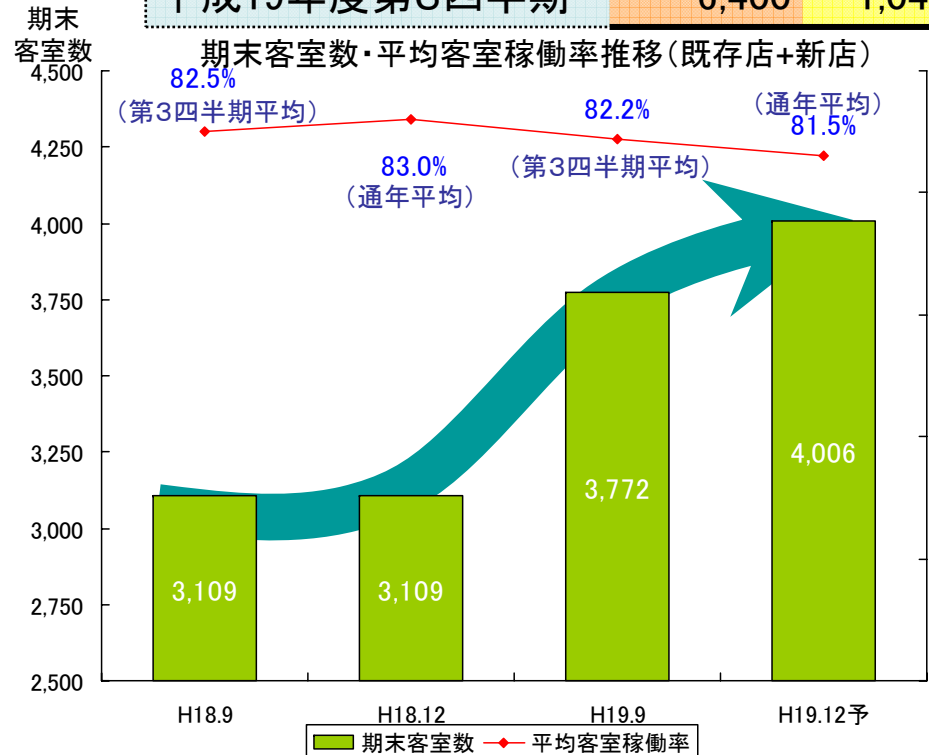
【百万円】



開店効果及び高稼働率維持により連続増収(+925百万円)

【ホテル事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成18年度第3四半期	5,475	1,057	
開店効果	+ 541	▲ 71	既存店の改善により引き続き好調であるが、積極開店※やブランド変更による経費負担の影響により、営業利益は前年並み
ブランド変更経費	—	▲ 19	
既存店改善分	+ 384	+ 81	
平成19年度第3四半期	6,400	1,048	

【百万円】



※ H19年以降開店ホテル(H19:4店、H20:1店)分
開店費用:241百万円

H18年以降ホテル開店実績

ホテル名	開店日	室数
リッチモンドホテル東京目白	H18年5月8日	120
ロイネットホテル札幌駅前☆	H18年5月27日	182
リッチモンドホテル福岡天神	H19年4月12日	250
リッチモンドホテル長崎思案橋	H19年6月27日	209
リッチモンドホテル福島駅前	H19年9月26日	204
リッチモンドホテル高知	H19年10月4日	234

☆現:リッチモンドホテル札幌駅前

今後の開店予定数:H20年度5店

《第2部》 通期連結業績予想

- ◆ 当期実績、現状の売上動向、事業再編の影響を反映させ、通期売上高予想を▲40億円修正
- ◆ 同様に利益予想を修正(営業利益・経常利益:各▲9億円、当期純利益:▲5億円)

連結

	H19年度予想	H18年度実績	増減率
売上高	1,240.0	1,162.0	+ 6.7%
営業利益	43.0	41.8	+ 2.8%
経常利益	46.0	45.6	+ 0.8%
当期純利益	15.0	16.5	▲ 9.3%

セグメント別

外部売上高

【億円】

	H19年度予想	H18年度実績	増減率
外食事業※	1,009.0	944.0	+ 6.9%
食品事業※☆	78.0	82.3	▲ 5.2%
機内食事業	64.0	61.1	+ 4.8%
ホテル事業	89.0	74.7	+ 19.2%
合計	1,240.0	1,162.0	+ 6.7%

営業利益

【億円】

	H19年度予想	H18年度実績	増減率
外食事業※	23.0	23.2	▲ 0.6%
食品事業☆	6.0	4.6	+ 29.3%
機内食事業※	10.0	10.0	0.0%
ホテル事業	14.0	13.6	+ 3.0%
全社・消去	▲ 10.0	▲ 9.6	▲ 4.3%
合計	43.0	41.8	+ 2.8%

※修正箇所
H19/8/14
公表値比較

外食事業:売上▲33億円、営業利益▲10.5億円
食品事業:売上▲7億円、営業利益一億円
機内食事業:売上一億円、営業利益+1.5億円

☆ ロイヤル食品(株)は平成19年9月26日の増資により、
当第3四半期より持分法適用会社となりました。

注意事項

*Fine food is our business for
the people hospitality cleanliness*

ROYAL

1. 本資料に記載している平成19年12月期通期の連結業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は、「天候」「景気動向」等の様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
2. 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務部

電話：03-5707-8873 藤岡 / 鹿又(かのまた)